

「北九州市子ども食堂運営事業」について

1 趣旨

経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭は増加傾向にあり、また、仕事等の理由で保護者の帰宅が恒常的に遅くなる家庭も多くなっている。

このため、ひとり親家庭等の子どもの孤食を防止し、幸福感や安心感を与える居場所を提供するため、「子ども食堂」をモデル事業として開設するもの。

今回の取組みを通じ、今後、民間を主体とした「子ども食堂」の活動が本市において広がるよう、そのモデルを示す。

2 事業概要

(1) 対象者

仕事等で保護者の帰宅が遅くなる家庭等の小・中学生
(主にひとり親家庭等の小・中学生)

(2) 事業内容

- 子どもたちと共に調理し、食卓を囲みながら温かい食事を提供
- 学習習慣の定着などの学習支援
- 基本的な生活習慣の習得の支援や生活指導

(3) 実施場所 【市内2ヶ所（東西1カ所ずつ）】 ※1ヶ所あたり40人程度

日明市民センター（小倉北区日明4-3-7）
尾倉市民センター（八幡東区尾倉1-15-2）

(4) 実施頻度・時間

頻度：月4回以上実施
時間：放課後児童クラブ終了後

(5) 参加費

原則無料

(6) 事業の実施体制

食事の提供や生活指導等を行う「NPO法人等の民間事業者」と学習支援を行う「学生ボランティア」、「地域」の連携による運営。

3 事業団体の選定

(1) 選定方法

企画提案方式により、企画提案書とプレゼンテーションの内容を外部の検討員(5名)が評価を行った。(企画提案検討会実施日：平成28年7月29日)

(2) 委託契約団体

3団体から企画提案があり、2団体を選定

【日明市民センター】社会福祉法人グリーンコープ

【尾倉市民センター】「NPO法人福岡県高齢者・障がい者支援機構」
「一般社団法人 コミュニティシンクタンク北九州」
「NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン」
「NPO法人わくわーく」の4団体共同事業体

(3) 企画提案検討会検討員

名前	役職	分野
眞鍋 和博	北九州市立大学地域創生学群 教授	学習支援・地域活動
山下 静江	くらしき作陽大学食文化学部 名誉教授	栄養教育・衛生管理
田中 眞弓	北九州市母子寡婦福祉会 理事長	ひとり親家庭
古森 邦子	日明市民センター 館長	地域（実施施設）
安永 扶由美	尾倉市民センター 館長	地域（実施施設）

(4) 企画提案書の評価

	(点)		
	NPO法人福岡県高齢者・障がい者支援機構 4団体共同事業体 (尾倉)	社会福祉法人 グリーンコープ (日明)	A社 (日明)
得点	77.0	76.4	64.2

※業務遂行能力・実績・体制・衛生管理・安全管理・食材の確保・スケジュール・経費など8項目を100点満点で評価

(5) 企画提案検討会からの意見

- 企画提案書やプレゼン内容などを基に検討した結果、「NPO法人福岡県高齢者・障がい者支援機構他3団体（尾倉市民センター希望）」および「社会福祉法人グリーンコープ（日明市民センター希望）」からの提案において、様々な資格を有した支援員の確保・配置や食材の提供ルート確保、簡単な調理法やどこにでもある食材を使った調理実習など子ども達の自立支援に向けた取り組みが優れており、契約予定団体として適当である。
- 事業実施に当たっては、関係団体と協議しながら、衛生管理や安全な食材の確保などに十分留意するとともに、より効率的な運営が望まれる。

4 事業実施にあたって

- 事業実施に向け、実施日時や送迎の対応、学習支援の内容、ボランティアの配置、小中学校との連携などについて、地域や市民センター、大学、教育委員会など関係団体との協議や調整を行う。
- 保健所による衛生管理や食中毒予防等の研修会の実施、子ども家庭局の栄養士による調理上の衛生管理や食材の点検、食育に関する勉強会など食の安全確保を確実にを行う。

5 予算

5,000千円（目安：1カ所2,500千円）

※厚生労働省の「ひとり親家庭等生活向上事業 実施要綱」に基づく国庫補助（1/2）を活用して実施する。

6 今後の事業スケジュール

8月～事業開始まで 関係団体との協議や調整、保健所での衛生管理の研修
管理栄養士による市民センターでの衛生管理の実地研修
9月中 事業開始（予定）